

▶ 事業の種類別セグメントの状況

自動車

売上高は2兆1,773億円と、前期に比べて2兆2,493億円（10.3%）の増収となり、営業利益は2兆1,719億円と、前期に比べて1,331億円（6.5%）の増益となりました。営業利益の増益は、諸経費の増加ほかによる影響があったものの、生産および販売台数の増加ならびに原価改善の努力などによるものです。

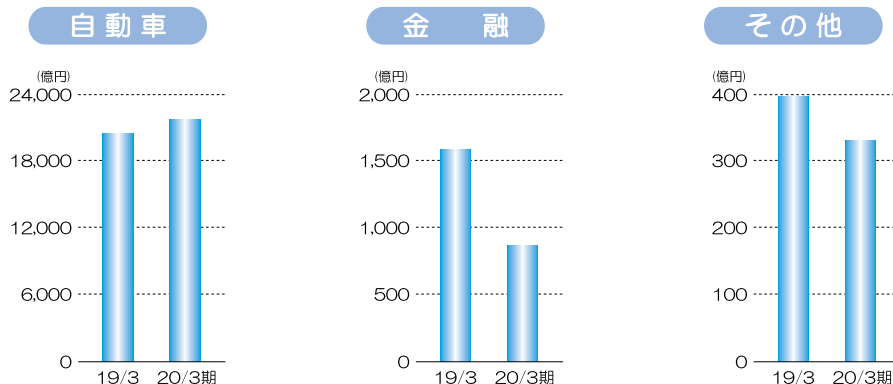
その他

売上高は1兆3,469億円と、前期に比べて232億円（1.8%）の増収となりましたが、営業利益は330億円と、前期に比べて66億円（16.6%）の減益となりました。

金融

売上高は1兆4,983億円と、前期に比べて1,978億円（15.2%）の増収となりましたが、営業利益は865億円と、前期に比べて720億円（45.4%）の減益となりました。営業利益の減益は、融資残高は順調に増加したものの、販売金融子会社において、米国財務会計基準書第133号（第138号等による修正を含む）に基づく金利スワップ取引などの時価評価による評価損が481億円増加したことなどによるものです。

事業別営業利益



所在地別セグメントの状況

日本

売上高は15兆3,158億円と、前期に比べて5,005億円(3.4%)の増収となりましたが、営業利益は1兆4,403億円と、前期に比べて169億円(1.2%)の減益となりました。営業利益の減益は、生産および輸出台数の増加ならびに原価改善の努力などによる効果があったものの、諸経費の増加ほかによるものです。

北米

売上高は9兆4,232億円と、前期に比べて3,935億円(4.4%)の増収となりましたが、営業利益は3,053億円と、前期に比べて1,443億円(32.1%)の減益となりました。営業利益の減益は、販売金融子会社において、米国財務会計基準書第133号(第138号等による修正を含む)に基づく金利スワップ取引などの時価評価による評価損が667億円増加したことなどによるものです。

欧州

売上高は3兆9,934億円と、前期に比べて4,513億円(12.7%)の増収となり、営業利益は1,415億円と、前期に比べて42億円(3.0%)の増益となりました。

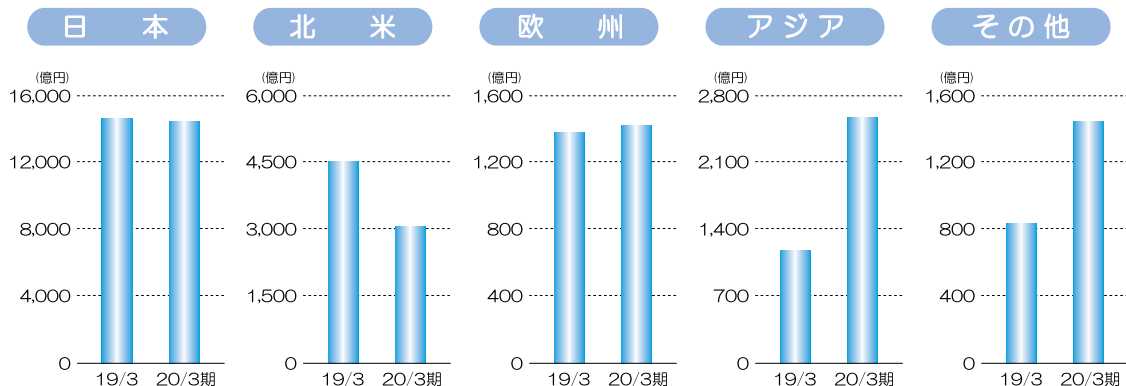
アジア

売上高は3兆1,209億円と、前期に比べて8,953億円(40.2%)の増収となり、営業利益は2,564億円と、前期に比べて1,388億円(2.2倍)の増益となりました。営業利益の増益は、生産および販売台数が増加したことなどによるものです。

その他

売上高は2兆2,941億円と、前期に比べて3,714億円(19.3%)の増収となり、営業利益は1,439億円と、前期に比べて604億円(72.4%)の増益となりました。営業利益の増益は、生産および販売台数が増加したことなどによるものです。

所在地別営業利益



▶ 当期に国内で発売された主な新型車



2007年6月
プレミオ／アリオン

上質感と存在感を高めた「5ナンバーセダンの完成形」



2007年7月
イスト

新しい価値を提示する、
クロスオーバースタイルの
コンパクトカー

トヨタブランド

2007年

4月

5月

6月

7月

8月

9月



2007年6月
ヴォクシー／ノア

「乗って」「使って」「走って」快適で、個性際立つジャストサイズ
ミニバン



2007年8月
ヴァンガード

乗る人々のライフスタイルを
より豊かに演出する高級ミディアム
SUV

レクサスブランド

2007年

4月

5月

6月

7月

8月

9月



2007年5月
LS600h/ LS600hL

高級車の世界に新たな価値を
提示するLEXUSブランドの
旗艦車



2007年9月 ランドクルーザー

本格派4WD車の頂点に立つ
トヨタブランドの最上級
SUV

2007年9月 マークX ジオ

自由で豊かな時間を求める大人の
ライフスタイルを、素敵にプロデュ
ースする新しいコンセプトのクルマ



2008年2月 タウンエース/ライトエース

毎日の仕事の良きパートナーとして活躍する、スタイリッシュかつ
コンパクトな商用車



10月

11月

12月

2008年

1月

2月

3月



2007年10月 カローラ ルミオン

「Relax in Style」をテーマに、
幅広い年齢層の感性に響く、
新コンパクトカー



2008年2月 クラウン

「感動性能」と呼ぶことの
できるクオリティを追求
した、トヨタブランドの
頂点

10月

11月

12月

2008年

1月

2月

3月



2007年12月 IS F

「運転する楽しさ」を極限まで
追求した、LEXUSブランドの
プレミアムスポーツ

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金支払株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
上場証券取引所	(国内) 東京・名古屋・大阪・福岡・札幌 (海外) ニューヨーク・ロンドン
株主名簿管理人 (同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都江東区東砂七丁目10番11号〔〒137-8081〕 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120 232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

ご案内

株券の電子化について

2009年1月から株券の電子化（ペーパーレス化）が実施される予定です。

電子化が実施されますとお手持ちの株券は無効となります。

お手元の株券は、お早めに証券会社を通じて証券保管振替機構にお預けいただくことをおすすめいたします。

株券がご本人以外の名義になっている場合は、早急に名義書換のお手続きをお済ませください。

詳細は、**証券決済制度改革推進センター ホームページ** <http://www.kessaicenter.com/>をご参照ください。

配当金の口座振込みについて

配当金の受取には、安全かつ確実にお受取いただける口座振込みをおすすめいたします。

配当金の口座振込みのご指定は、銀行預金口座または、ゆうちょ口座が可能です。

6月24日発送予定の株主様宛書類に配当金振込指定書を同封いたします。新規口座振込みまたは変更をご希望の場合は、必要事項をご記入いただき、お届け印をご押印の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

単元未満株式の買取について

単元未満株式（100株未満の株式）をご所有の株主様は、単元未満株式の買取請求が可能です。

単元未満株式の買取請求のお手続きをご希望の株主様は、上記株主名簿管理人連絡先または同取次所にて受け付けています。なお、お取引口座のある証券会社にお預けの単元未満株式（株券等の保管振替制度をご利用されている場合）の買取につきましては、お取引証券会社までお問い合わせください。

お手続き書類のご請求はこちらへお願いいたします。

株主名義書換請求書、配当金振込指定書、単元未満株式の買取請求書、ご住所・お届け印などの変更届等の株式関係手続きのご請求は、三菱UFJ信託銀行の電話およびホームページにて24時間承っております。

電話（通話料無料） 0120 244 - 479（本店証券代行部）

ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

（証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。）

トヨタ自動車株式会社 <http://www.toyota.co.jp>

証券コード：7203

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。